

# 自立活動だより



平成29年6月発行

「SST（ソーシャルスキルトレーニング）ってどんなことから始めたらいいのかな？」と悩んでいる方は少なくないと思います。今回の抽出指導だよりでは、抽出指導のセクション3でも取り組み始めている「SST」について、実践例も交えて紹介できればと思います。

## ★「ソーシャルスキル」ってなに？★

「人間関係や集団行動を上手に営んでいくための技能」です



ソーシャルスキル指導の  
基本テクニック

ことばや絵カードなどを用いて直接教える

教示

指導者や友だちの手本となるふるまいを見せて学ばせる

モデリング

模擬場面などで実際にやってみる（ロールプレイングなど）

リハーサル

行動を振り返り、ほめたり修正を求めたりする

フィードバック

どのような場面（時、場所、人）にかかわらず、いつでもできるようにする

一般化

これらの教え方を組み合わせて指導を行う

※『ソーシャルトレーニング（SST）実例集』（ナツメ社）p16、17引用

## 1. 周りの人と適切な関わりをもつ

友だちや先生のことは気になるけれども、適切な関わり方で接することが苦手な子どもたちへの取組の一例を紹介します。

### 活動1：教師が子どもをまねっこ

- 相手の存在を意識し、視線を合わせ一緒に遊ぶ。



まねっこ遊びを通じて、「まねをして」と要求が出てきて、教師の動きを模倣する様子が見られるようになってきました。

### 活動2：点つなぎ（教師が書いた点を追って線を引きます）

- 相手の動きに合わせて、自分の動きを調整する。



ルールがわかりにくい時は、教師の手本の動画を見ると理解できることが多かったです。

### 活動3：「おふねがぎっちらこ」

- 相手と動きを合わせ、活動を楽しむ



活動を行う上で、①相手に視線を向ける②相手の手を握り、手から力の加減を感じる③相手の動きに合わせて模倣する④歌に合わせて楽しさを共有する等大切に取り組んでいます。初めは動きを合わせてくれる大人と行い、次に友だちともできることをねらいます。「なべなべそこぬけ」や「糸車」等も行います。

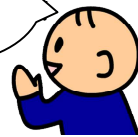
### 活動4：絵や文字を手がかりに伝える

- クレーンや「ちょっと」「みて」等違う言葉ではなく、正しく要求を伝える。



※ヒントカード

ほん  
ください



## 2. ルールを守る・言葉で伝える

ルールはわかっているけどつつい自己流になる子どもや、言葉で説明をすることが苦手な子どもたちとゲーム等を通じて行った取組を紹介します。

### 活動1：ぼうずめくり

- ルールを守る
- 負けたら「くやしい」と声に出して伝える



順番に札を取り、「坊主はドボン」「殿はセーフ」「姫はゲット」とルールを声に出して行います。負けるのが嫌で中断する子や「くやしい」が言えない子とも行い、安心できる人や場所で繰り返し「負けても大丈夫」な経験を積んでいきました。

### 活動2：ブラックボックス（2人で行う）

- ルールを守る
- 相手にわかるようにヒントを伝える



①箱の中は見ません②ヒントだけ言いますと始めにルールを確認し、教師から始めて正しいやり方を提示します。ゲームの途中で「～できてるね、○」等その都度評価を行い、ゲームの後子どもと振り返ります。

### 活動3：まちがいさがし

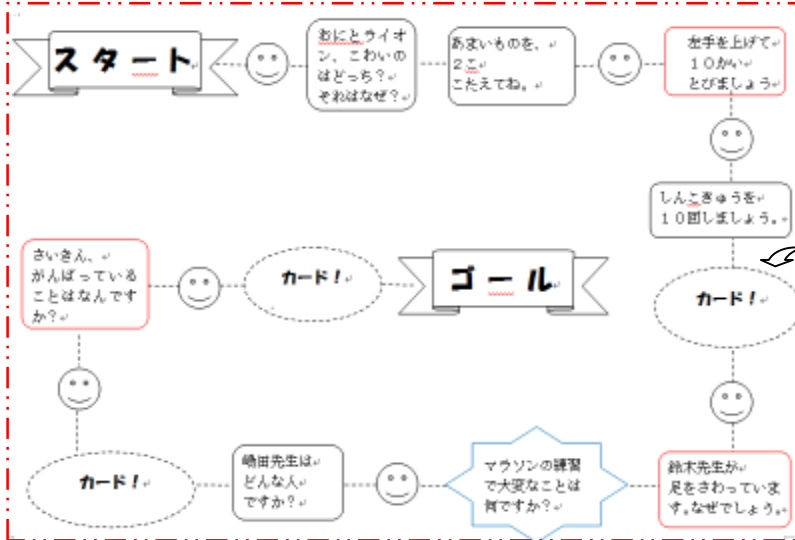
- ルールを守る（最後まで怒らずがんばります等）
- 相手がわかるように言葉で説明する

単語のみで伝える子には、初めは「右の絵は～です」「左の絵は～です」と伝え方シートを手がかりに練習を行います。絵（状況）を全体ではなく一部を見がち子どもとも行います。わからなくていらいらしてきた時は「おしえて」と怒らず伝えること等を学びます。

### 活動4：2匹のゆびにんぎょう

- 相手や相手の言葉によって、決まった言葉で返す。

友だちと関わりたいけど、適切な言葉がけが難しい子どもと取り組みました。出てくる動物によってセリフが変わり、例えばうさぎが「ちょっとまってね」と言うのを聞いて「いいよ」と返事を練習を繰り返し行います。この後「ぬりえ」では、実際に教師と色鉛筆を「かして」「いいよ」等のやりとりを学習しました。



### 活動5：すごろく

- 少人数の友だちとルールを守り、自分の意見を伝える
- 相手の意見や気持ちを受け止め、違いを認める

「カード！」のところでは身近な学校、地域等で起こりそうな場面で、「こんな時どうする？」のか3つの選択肢を手がかりに、適切な対処法や言葉のかけ方等を考えていきます。マス目のお題は、考えや気持ちを説明することや他の人に目を向けること等子どもの課題に合わせて設定します。

『和歌山どんまいプログラム』（和歌山県発達障害者支援センター ポラリス）や『聞き取りワークシート』（かもがわ出版）、『あたまと心で考えようSSTワークシート』（かもがわ出版）等のワークシートを使ってそれぞれの課題に迫る学習にも取り組んでいます。

自立活動の授業で使用している教材については、近日学校のHPにて紹介させていただく予定です。そちらもご参照ください。

これからも子どもたちの実態に応じて授業や教材等支援の方法を保護者の方や先生方と一緒に考えていけたら嬉しいです。気になること等ありましたらいつでも声をかけてください。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

